3-854-213-**06** (1)

リモートコントロールユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-BR300

安全のために

ソニー製品は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4、5 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般および設置の注意事項が記されています。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したときは**

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

目次

概要

接続・操作

付録

⚠警告

火災 感電

下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

指示

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

禁止

不安定な場所に設置しない

次のような場所に設置すると、倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。
・ ぐらついた台の上
・ 傾いたところ
・ 振動や衝撃のかかるところ
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

指示

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置かない

変形したり、故障したりするだけでなく、火災の原因となることがあります。特に、窓際に置くときなどはご注意ください。

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

指定された電源コード、カメラケーブルなどの接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている電源コード、カメラケーブルなどの接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用製品ご相談窓口にご相談ください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

AC 電源コードを傷つけない

AC 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- コードを加工したり、傷つけたりしない
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

万一、コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

運搬時には、接続ケーブルを取り外す

本機を運搬する際には、AC 電源コードおよび接続ケーブルを必ず取り外してください。接続ケーブルに引っかかると、転倒や落下の原因となることがあります。

膝に乗せて使用しない

膝の上で使用すると、落下してけがの原因となることがあります。

キースイッチやジョイスティックを使いすぎない

キースイッチやジョイスティックを長時間継続して使用すると、腕や手首が 痛くなったりすることがあります。
キースイッチやジョイスティック使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本システムの使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診察を受けてください。

概要

特長

光学式 3 軸ジョイスティックによるパン・チルト・ズーム操作

多彩なカメラ調整機能を簡単に操作

オートフォーカス、ワンプッシュオートフォーカス調整をはじめ、AE 調整機能、ワンプッシュホワイトバランス、逆光補正など、カメラに装備されている機能を簡単なボタン操作で実行できます。

VISCA RS-232C/RS-422 通信方式により長距離の高速通信が可能

最大 7 台のカメラをディジーチェーン接続して本機からコントロールできます。

タリーランプ入力・コンタクト出力端子（9 ピンコンタクト端子台）の装備により、外部スイッチャーの接続が可能

カメラ調整状態の記憶操作（プリセット機能）が可能

パン・チルト・ズームの位置やカメラ調整状態を最大 16 ポジション*まで、カメラ内部のメモリーに記憶させることができます。

* 接続するカメラにより、記憶できるポジション数が異なります。（3CCD カラービデオカメラ BRC-300 接続時は 6 ポジションです。）

制御可能なソニー製 VISCA 対応カメラ

- 3CCD カラービデオカメラ BRC-300
- HD 3CCD カラービデオカメラ BRC-H700
- HD 3CMOS カラービデオカメラ BRC-Z700
- HD CMOS カラービデオカメラ BRC-Z330
- ネットワークカメラ SNC-RZ30N

ご注意

- 本機で操作可能な機能は、カメラ側に装備された機能に限定されます。
- この説明書では、主に 3CCD カラービデオカメラ BRC-300 を接続した場合について説明しています。詳しくは制御するカメラの取扱説明書をご覧ください。

AC 電源アダプターについて

付属の AC 電源アダプターはソニー製の AC 電源アダプター MPA-AC1 です。

本機の性能を維持するために

使用・保管場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。故障の原因となります。

- 極端に暑い所や寒い所 (使用温度は 0 ℃～＋ 40 ℃)
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く
- 強い振動や衝撃のある所

放熱について

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がり、故障や事故の原因となります。

輸送について

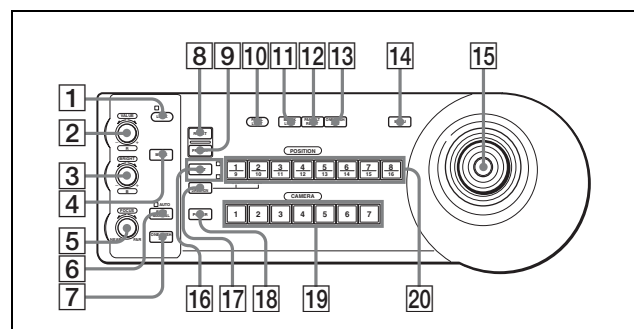
輸送するときは、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

お手入れについて

- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取ったあと、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

各部の名称と働き

ここでは、カメラ BRC-300、BRC-H700、BRC-Z700 または BRC-Z330 と組み合わせた場合の機能を主に説明します。

前面

1 LOCK ボタンとインジケーター

このボタンを 1 秒以上押すとインジケーターが点灯し、VALUE/R つまみと BRIGHT/B つまみ、FOCUS つまみで設定した調整値がロックされます。（ロックされたつまみのインジケーターは消灯します。）また、AUTO/MANUAL ボタンが動作しなくなります。
LOCK ボタンをもう一度 1 秒以上押すと、ロックが解除されます。

2 VALUE/R つまみ

MODE ボタンで明るさ調整モードを選択しているとき（VALUE の文字が点灯）：カメラ側で優先設定されているモード（SHUTTER、IRIS）の値を調節します。

VALUE 点灯時のつまみの機能は、カメラ側の露出モードの設定により変化します。詳しくは、「VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能一覧」（7 ページ）をご覧ください。

MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき（R の文字が点灯）：R. GAIN（赤ゲイン）を調節します。

カメラ BRC-H700、BRC-Z700 または BRC-Z330 をご使用の場合、R 点灯時の機能は、カメラ側のホワイトバランスモードの設定により変化します。詳しくは、「BRC-H700/BRC-Z700/BRC-Z330 使用時の R つまみと B つまみの機能」（7 ページ）をご覧ください。

3 BRIGHT/B つまみ

MODE ボタンで明るさ調整モードを選択しているとき（BRIGHT の文字が点灯）：カメラのブライトネス（明るさ）などを調節します。
BRIGHT 点灯時のつまみの機能は、カメラ側の露出モードの設定により変化します。詳しくは、「VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能一覧」（7 ページ）をご覧ください。

MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき (B の文字が点灯)：B.GAIN（青ゲイン）を調節します。

カメラ BRC-H700、BRC-Z700 または BRC-Z330 をご使用の場合、B 点灯時の機能は、カメラ側のホワイトバランスモードの設定により変化します。詳しくは、「BRC-H700/BRC-Z700/BRC-Z330 使用時の R つまみと B つまみの機能」（7 ページ）をご覧ください。

VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能一覧

VALUE つまみと BRIGHT つまみの機能は、カメラ側の露出モードの設定によって次のように変わります。

カメラ側の露出モード設定	VALUE つまみの機能	BRIGHT つまみの機能
FULL AUTO	（未使用）	EX-COMP LEVEL 調整（カメラ側の露出補正機能が有効のとき）
SHUTTER Pri	SHUTTER SPEED 調整	
IRIS Pri	IRIS 調整	
GAIN Pri**	GAIN 調整 **	
BRIGHT	（未使用）	BRIGHT LEVEL 調整
MANUAL	SHUTTER SPEED 調整	IRIS 調整 *

* カメラ BRC-H700、BRC-Z700、BRC-Z330 では、底面の DIP スイッチ 3 を ON にすると IRIS+GAIN 調整が可能
** カメラ BRC-H700、BRC-Z700、BRC-Z330 のみ有効

カメラ BRC-H700/BRC-Z700/BRC-Z330 使用時の R つまみと B つまみの機能

本機の MODE ボタンでホワイトバランス調整モードを選択しているとき、カメラのメニューのホワイトバランスモードの設定によりつまみの機能が異なります。

カメラ側のホワイトバランス調整モード	R つまみ	B つまみ
MANUAL	赤のゲイン調整	青のゲイン調整
AUTO*、AUTO1**、AUTO2**、ONE PUSH	WB SHIFT 調整 * WB R.SHIFT 調整 **	WB SHIFT 調整 * WB B.SHIFT 調整 **

* BRC-H700 のみ
** BRC-Z700、BRC-Z330 のみ

4 MODEボタン
VALUE/RつまみとBRIGHT/Bつまみの機能を、明るさ調整またはホワイトバランス調整に切り換えます。
明るさ調整モードのときは、VALUEおよびBRIGHTの文字が点灯します。
ホワイトバランス調整モードのときは、RおよびBの文字が点灯します。

5 FOCUSつまみ
AUTO/MANUALボタンでフォーカスモードをMANUALにしたとき、左へ回すとピントが合う位置が近くなり、右へ回すと遠くなります。

6 AUTO/MANUALボタンとAUTOインジケーター
カメラのフォーカスモードをAUTOまたはMANUALに切り換えます。
AUTOを選択するとAUTOインジケーターが点灯し、画面中央部の被写体にピントが合います。
FOCUSつまみとONE PUSH AFボタンは無効となります。
MANUALを選択すると、FOCUSの文字が点灯し、FOCUSつまみとONE PUSH AFボタンが有効となります。
BRC-Z700またはBRC-Z330の場合、メニューのAF ASSISTをONにすると、フォーカスモードがAUTOでも、手動でピントを調節することができます。詳しくは、BRC-Z700またはBRC-Z330の取扱説明書をご覧ください。

7 ONE PUSH AFボタン
AUTO/MANUALボタンでフォーカスモードをMANUALにしたとき、このボタンを押すとワンプッシュオートフォーカス機能が働きます。

8 RESETボタン
このボタンを押しながらPOSITION ボタンを押すと、押したボタンに相当するカメラ内部のメモリー内容がクリアされ、工場出荷時の状態に戻ります。
また、複数台のカメラ接続時、このボタンを押しながらPOWERボタンを押すと、カメラアドレスが設定されます。

9 PRESETボタン
このボタンを押しながらPOSITION ボタンを押すと、押したボタンに相当するカメラの状態が、そのカメラ内部のメモリーに記憶されます。

10 PANEL LIGHTボタン
このボタンを押すと、すべてのPOSITIONボタンとCAMERAボタンが点灯したり、消灯したりします。

11 BACK LIGHTボタン
カメラ側の露出モードがFULL AUTOのとき、このボタンを押すと、カメラの逆光補正機能が有効になります。もう一度押すと、解除されます。

カメラBRC-H700、BRC-Z700またはBRC-Z330をご使用の場合、SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、カメラのスポットライト補正機能が有効になり、被写体の一部に明るい場所がある場合、露出が暗く調整されます。もう一度SHIFTボタンを押しながらこのボタンを押すと、スポットライト補正機能が解除されます。

12 PAN-TILT RESETボタン
このボタンを押すと、カメラのパン・チルト位置を初期状態にリセットします。

13 ONE PUSH AWBボタン
カメラのホワイトバランス調整モードがONE PUSH（ワンプッシュホワイトバランス）のとき、このボタンを押すと、ワンプッシュホワイトバランス機能が実行されます。

14 MENUボタン
カメラBRC-300、BRC-H700、BRC-Z700またはBRC-Z330を接続しているとき、カメラのメニューをオン/オフしたり、メインメニューへ戻るときに使います。ボタンは、約1秒押してください。

15 ジョイスティック
パン・チルト・ズームを操作します。CAMERAボタンを押して操作したいカメラを選択してから、ジョイスティックを操作します。

パン・チルト
ジョイスティックを左右に倒すとパンが実行され、上下に倒すとチルトが実行されます。ジョイスティックを倒す角度によって、パン、チルトの速度が変わります。手を離すと動作が停止します。

ズーム
ジョイスティック上部のダイヤルを右へ回すと被写体が大きくなり、左へ回すと被写体が小さくなります。

カメラの向きを正面に戻すには
ジョイスティック上部のボタンを1～2秒押すと、カメラの向きが正面に戻ります。

16 SHIFT ボタンとインジケーター

このボタンを1秒以上押すと、POSITION ボタンをポジション番号1～8として使用するか、ポジション番号9～16として使用するかが切り換わります。上側のインジケーター点灯時は1～8、下側のインジケーター点灯時は9～16になります。

カメラ BRC-H700、BRC-Z700 または BRC-Z330 をご使用の場合、SHIFT ボタンを押しながら POSITION ボタンを押すと、下側のインジケーターが点灯し、POSITION ボタンをポジション番号9～16として使用できます。SHIFT ボタンから指を離すと、上側のインジケーターが点灯し、POSITION ボタンをポジション番号1～8として使用できます。

17 L/R DIRECTION ボタン

通常、ジョイスティックを右へ倒すとカメラは右方向にパンするように設定されています。
このボタンを押しながら POSITION ボタン2（REV）を押すと、カメラのパンの方向がジョイスティックを倒す方向と逆になります。もとの設定に戻すときは、このボタンを押しながら POSITION ボタン1（STD）を押します。

18 POWER ボタン

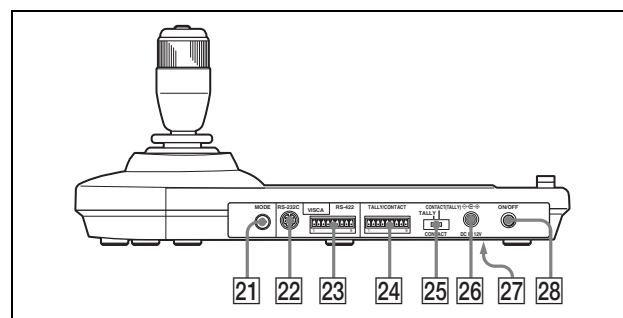
このボタンを押すと、接続されているカメラの状態に応じて CAMERA ボタンが点灯します。
青：カメラの電源オン
黄緑：カメラスタンバイ
消灯：カメラ未接続
このボタンを押しながら CAMERA ボタン1～7を押すと、押した番号のカメラの電源を入切できます。

19 CAMERA ボタン

接続されているカメラを選択します。選択したカメラ番号のボタンが青色に点灯します。

20 POSITION ボタン

カメラのパン・チルト・ズーム位置や各種設定をそれぞれのボタンに相当するカメラ内部のメモリーに記憶したり、記憶したメモリー内容を読み出したりします。

後面・底面

21 MODE 切換スイッチ

接続する VISCA 対応カメラによってスイッチの位置を切り換えます。

スイッチの位置	カメラモード
0	自動判別（デフォルト）
1	BRC-300
2	MODE 2（未使用）
3	MODE 3（未使用）
4	MODE 4（未使用）
5	SNC-RZ30N
6	BRC-H700
7	BRC-Z700
8	BRC-Z330

ご注意

- 1～8の設定は、接続したカメラがすべて同じモデルの場合にご使用ください。それ以外の場合は、0に設定してください。
- SNC-RZ30N を接続した場合は、必ず5の位置でご使用ください。

22 VISCA RS-232C 端子

カメラまたはオプチカルマルチプレックスユニットの VISCA RS-232C IN 端子と接続します。

23 VISCA RS-422 端子

カメラまたはオプチカルマルチプレックスユニットの VISCA RS-422 端子と接続します。
工場出荷時には、VISCA RS-422 端子台コネクターが取り付けられています。

24 TALLY/CONTACT 端子

外部スイッチャーに接続し、タリーランプ入力、またはコンタクト出力端子として使用します。
TALLY/CONTACT スイッチで端子の機能を切り換えます。
工場出荷時には、VISCA RS-422 端子台コネクターが取り付けられています。

㉕ **TALLY/CONTACT スイッチ**
TALLY/CONTACT 端子の機能を切り換えます。
TALLY：ノーマルタリーモード時は、外部スイッチャーで選択されたカメラ番号の CAMERA ボタンが青色に点灯し、タリーランプを点灯させます。
オンエアタリーモード時は、外部スイッチャーで選択されたカメラのタリーランプが点灯します。ただし本機の CAMERA ボタンの点灯や消灯は変化しません。
詳しくは、「RM-BR300 のタリーモードを設定する」（18 ページ）をご覧ください。
CONTACT：外部スイッチャーに対し、このリモートコントロールユニットで選択したカメラアドレスのコンタクト出力を短絡します。
CONTACT(TALLY)：外部スイッチャーに対し、このリモートコントロールユニットで選択したカメラアドレスのコンタクト出力を短絡するとともに、選択したカメラのタリーランプを点灯させます。

㉖ **DC IN 12V 端子**
付属の AC 電源アダプターを接続します。

㉗ **DIP スイッチ（底面）**
スイッチ 1（RS-232C/RS-422 切換スイッチ）
ON にすると RS-422、OFF にすると RS-232C が選択されます。

スイッチ 2（通信ボーレート切換スイッチ）
ON にするとボーレートが 38,400bps になり、OFF にすると 9,600bps になります。

スイッチ 3（BRIGHT つまみ機能切換スイッチ）
ON にすると、IRIS と GAIN の調節ができ、OFF にすると IRIS のみの調節ができます。

㉘ **ON/OFF スイッチ**
リモートコントロールユニットの電源を入切します。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

ご注意

各スイッチの設定は、本機の電源を入れる前に行ってください。本機の電源を入れた後で切り換えても無効です。

ソニー製 VISCA 対応カメラ使用時の機能対応表

次のボタンや端子の機能はカメラによって異なります。これ以外の機能は、各カメラに共通です。

	BRC-300/ BRC-H700/ BRC-Z700/ BRC-Z330	SNC-RZ30N
⑫ PAN-TILT RESET ボタン	○	×
⑭ MENU ボタン	○	×
⑱ POWER ボタン	○	×
⑲ CAMERA ボタン	○	×
㉓ VISCA RS-422 端子	○	×

○使用可能、×使用不可能

接続する

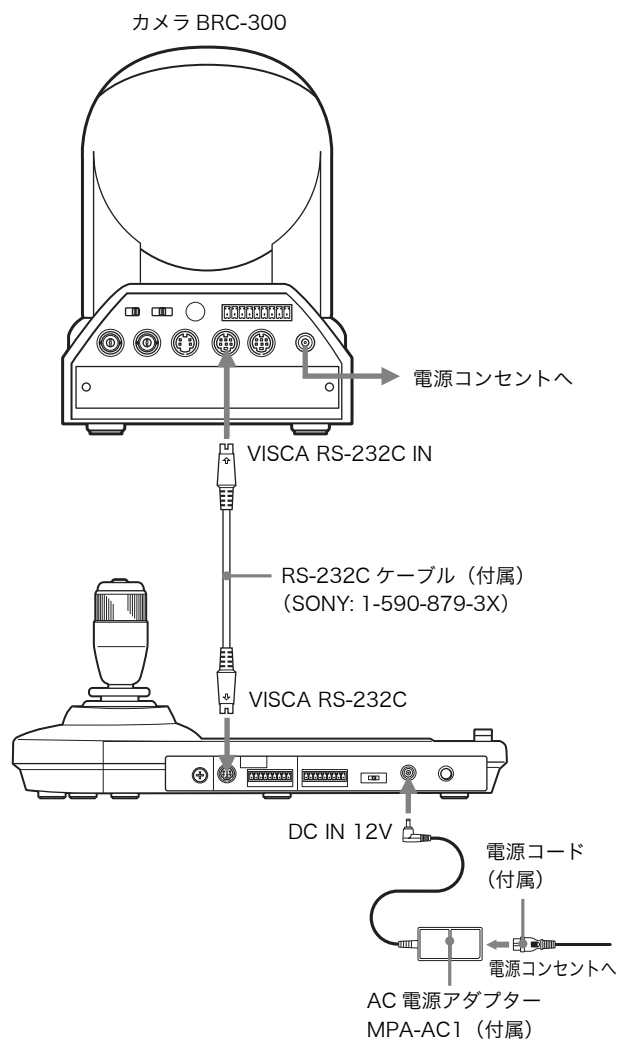
ここでは、カメラ BRC-300 を例とする接続例を記載します。BRC-300 以外のカメラと接続する場合は、カメラの取扱説明書も合わせてご覧ください。

VISCA RS-232C 端子を持つカメラとの接続

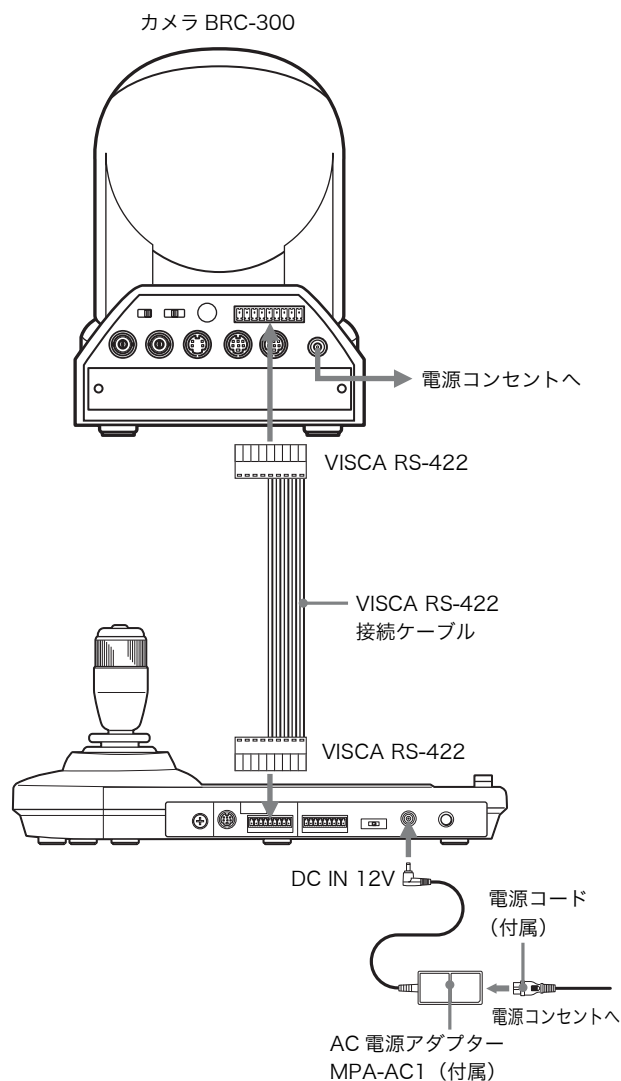
1 本機に付属の RS-232C 接続ケーブルを使って、カメラと本機を接続する。

2 付属の AC 電源アダプターと電源コードを使って、AC 電源へ接続する。

ご注意

VISCA RS-232C 接続の場合は、本機底面の DIP スイッチ（10 ページ）で RS-232C が選択されていることを確認してください。

VISCA RS-422 端子を持つカメラとの接続

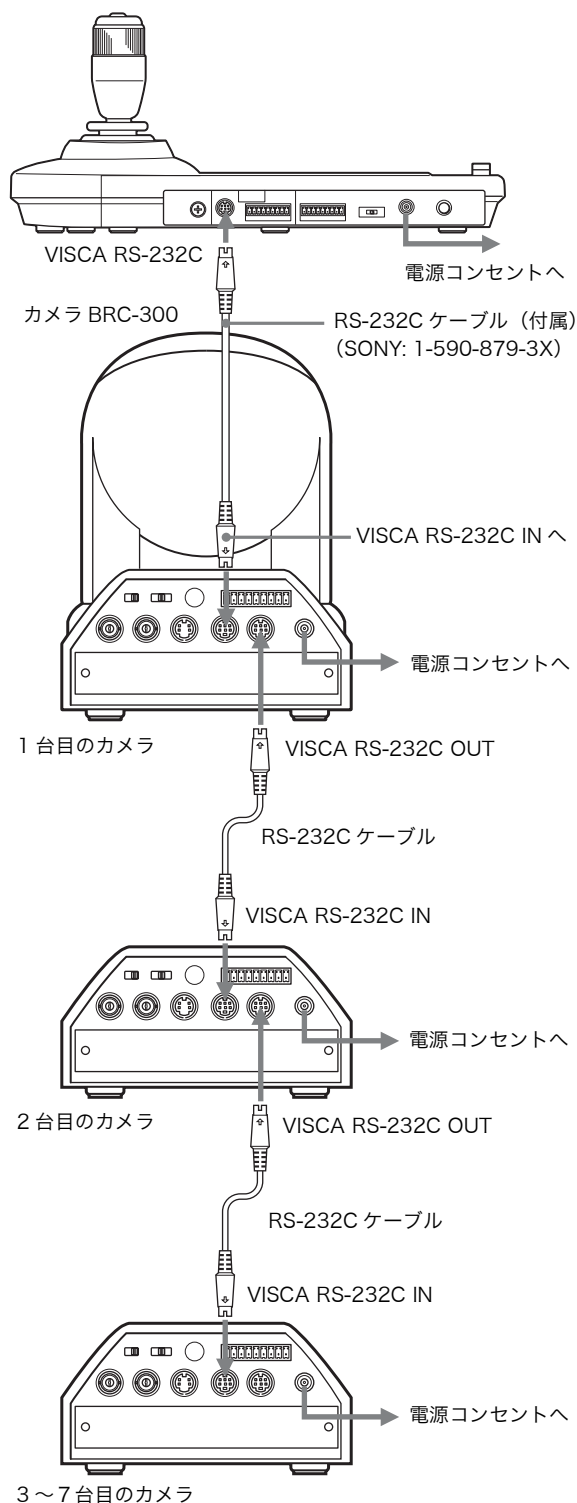
RS-232C 接続ケーブルの代わりに、VISCA RS-422 端子を使って本機とカメラを接続することもできます。
VISCA RS-422 接続では、最大 1.2 km までの接続が可能です。
カメラと本機に付属の RS-422 端子台コネクターを使って、接続ケーブルを製作してください。

接続ケーブル製作の際は、VISCA RS-422 端子のピン配列（21 ページ）を参考にしてください。
また、VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかたは、21 ページをご覧ください。

ご注意

- VISCA RS-422 接続の場合は、本機底面の DIP スイッチ（10 ページ）で RS-422 が選択されていることを確認してください。
- VISCA RS-422 接続時は VISCA RS-232C 接続を行うことはできません。

VISCA RS-232C 端子を持つ複数のカメラとの接続

VISCA RS-232C 接続ケーブル（クロスタイプ）を接続すると、7 台までのカメラを本機 1 台でコントロールすることができます。

ご注意

VISCA RS-232C 接続の場合は、本機底面の DIP スイッチ（10 ページ）で RS-232C が選択されていることを確認してください。

カメラアドレスを割り当てるには

操作の前に、接続したカメラにアドレスを割り当てます。いったんアドレスを割り当てれば、CAMERA ボタンを押すだけで、操作するカメラを切り換えることができます。

1 すべてのカメラと本機の電源を入れる。

2 本機のRESETボタンを押しながらPOWERボタンを押す。
カメラの接続が認識され、接続されている順番に各カメラに 1 〜 7 のカメラアドレスが自動的に割り当てられます。

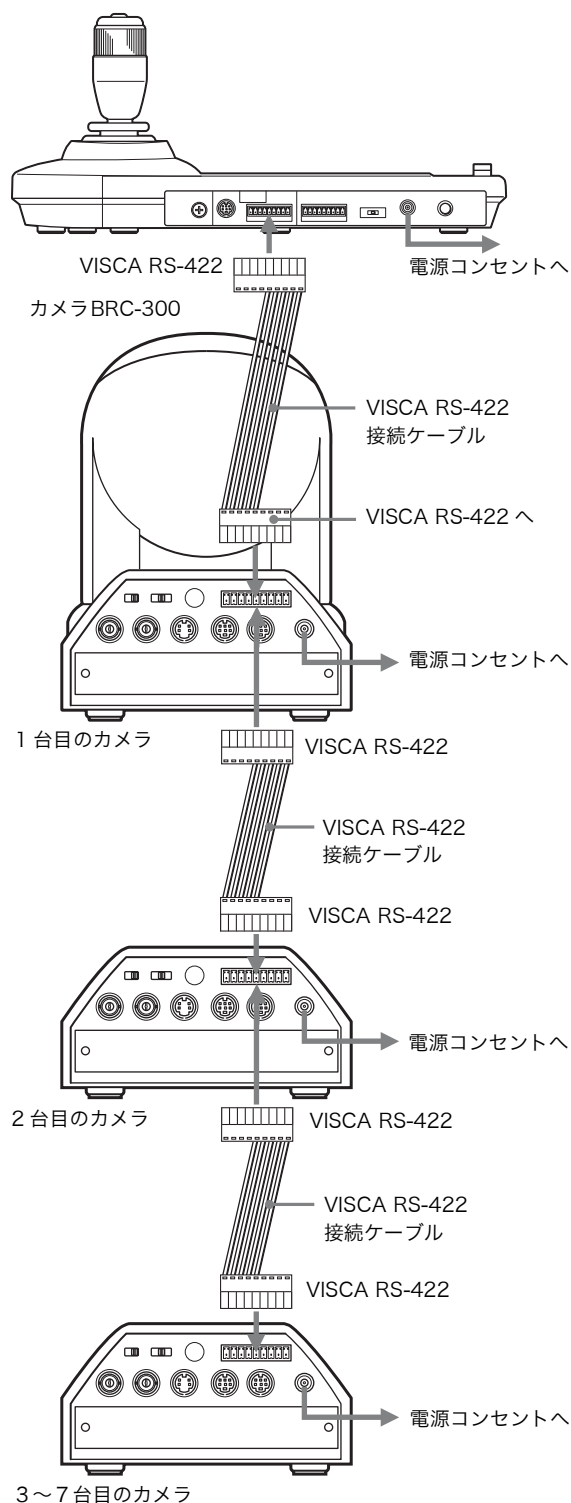
3 本機の POWER ボタンを押して、CAMERA ボタンが点灯することを確認する。
カメラアドレスが割り当てられたカメラの数だけ CAMERA ボタンが点灯します。
これで CAMERA ボタンを押すだけで、カメラを切り換えることができます。

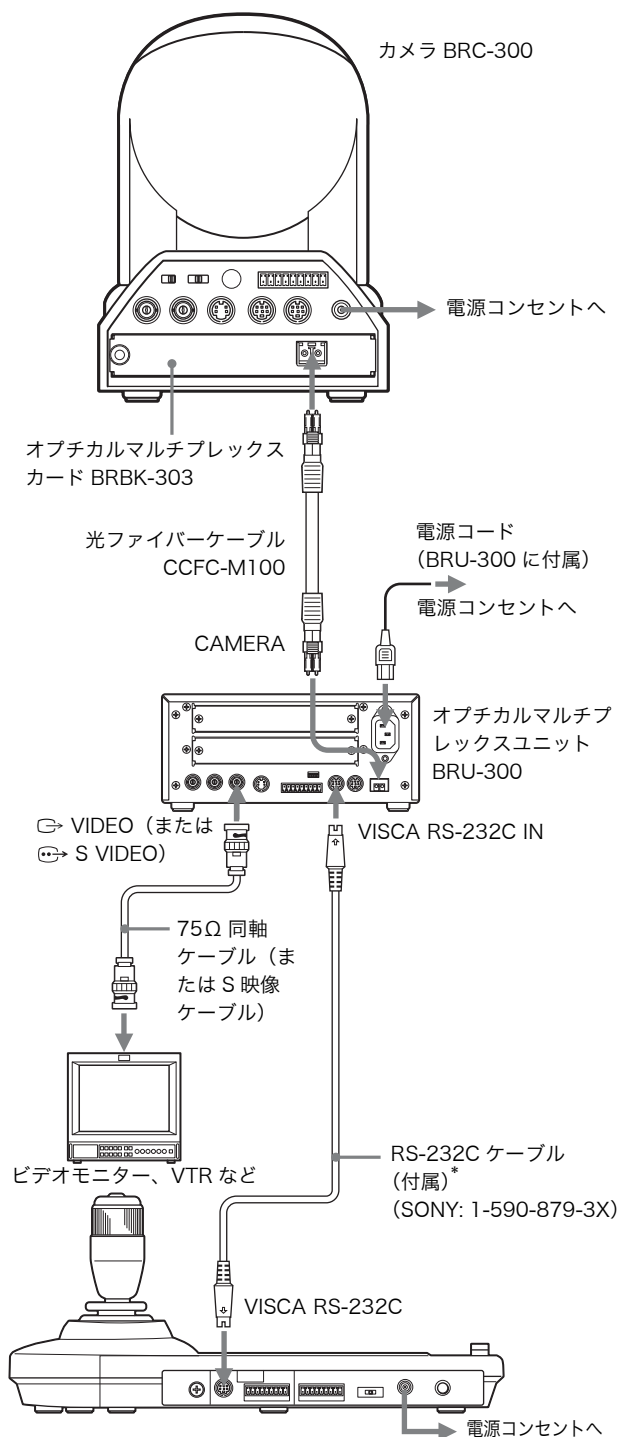
VISCA RS-422 端子を持つ複数のカメラとの接続

VISCA RS-422 端子を使って複数のカメラを接続することもできます。VISCA RS-422 接続では、最大 1.2 km までの接続が可能です。
本機に付属の RS-422 端子台コネクターを使って、接続ケーブルを製作してください。

接続ケーブル製作の際は、VISCA RS-422 端子のピン配列（21 ページ）と VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた（21 ページ）をご覧ください。
カメラ BRC-300 を複数台接続する場合の配線図は、BRC-300 の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

・VISCA RS-422 接続の場合は、本機底面の DIP スイッチ（10 ページ）で RS-422 が選択されていることを確認してください。
・VISCA RS-422 接続時は VISCA RS-232C 接続を行うことはできません。

オプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 との接続

別売りのオプチカルマルチプレックスユニット BRU-300 を経由してカメラをコントロールすることができます。

＊ VISCA RS-232C 接続の代わりに VISCA RS-422 端子を使って、VISCA RS-422 接続を行うこともできます。

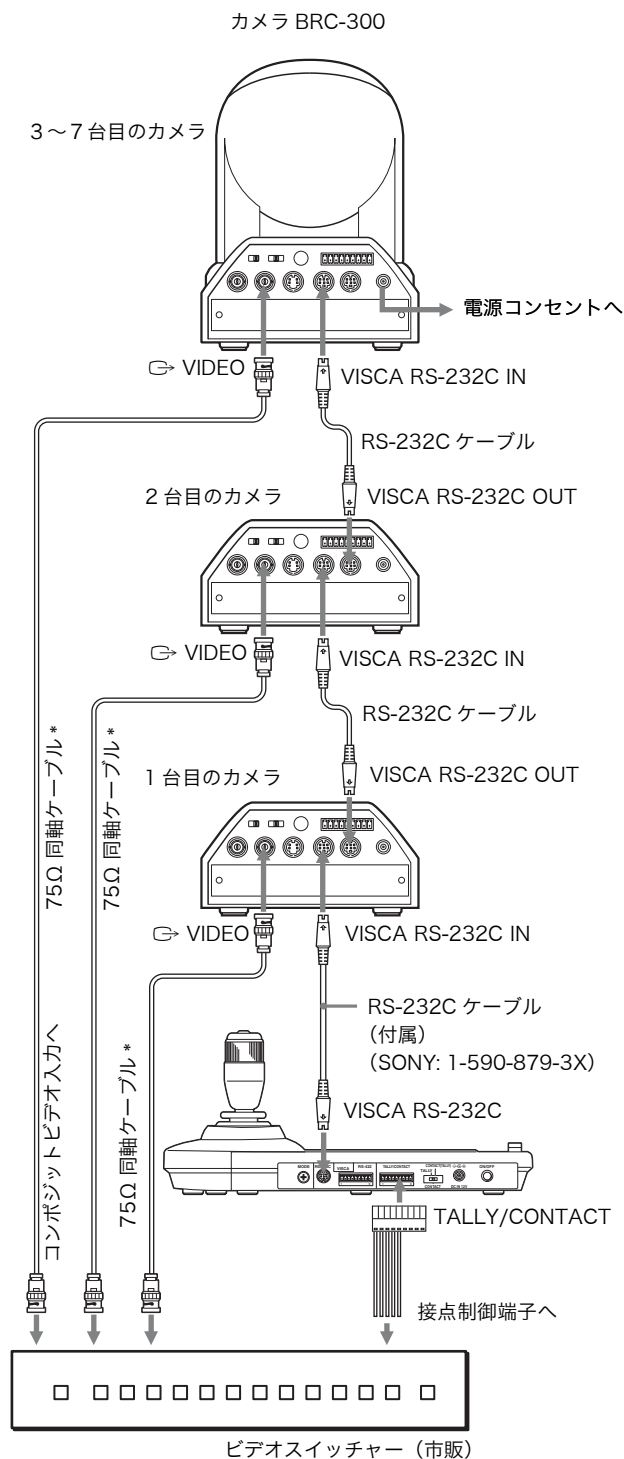
カメラ BRC-H700、BRC-Z700 をご使用の場合は、オプチカルマルチプレックスユニット BRU-H700 を経由してカメラをコントロールすることができます。接続のしかたは、BRC-H700 または BRC-Z700 の取扱説明書をご覧ください。

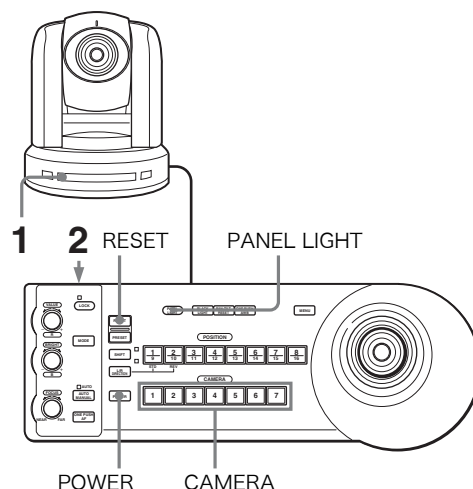
ご注意

オプチカルマルチプレックスユニットと本機を VISCA RS-232C 接続または VISCA RS-422 接続する場合は、オプチカルマルチプレックスユニット後面の VISCA FUNCTION スイッチと本機底面の DIP スイッチ（10 ページ）で正しい VISCA 方式が選択されていることを確認してください。

ビデオスイッチャーとの接続

複数のカメラを切り換えて使うとき、市販の接点制御対応のビデオスイッチャーを接続します。

* S 映像ケーブルを使ってカメラの S VIDEO 端子をビデオスイッチャーの S ビデオ入力端子へ接続することもできます。

ビデオスイッチャーへの接続については、スイッチャーの取扱説明書をご覧ください。

電源を入れる

1 カメラをコンセントにつなぐ。
カメラの電源が入り、POWER ランプが点灯します。
電源を入れると、カメラは自動的にパン・チルト動作をして、POSITION1 に記憶された位置になります（パン・チルトリセット）。

2 本機の ON/OFF スイッチを押して、電源を入れる。
前回本機の電源を切る際に選択されていた番号の CAMERA ボタンが点灯します。
（お買い上げ後、初めて電源を入れたときは 1 ボタンが点灯します。）

3 その他の周辺機器の電源を入れる。

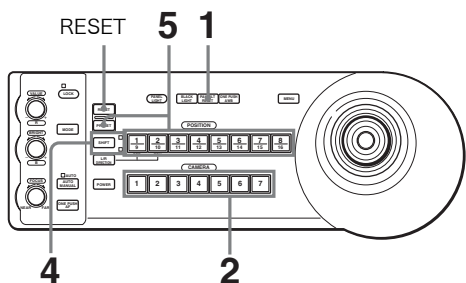
ご注意

- カメラの電源は、本機の電源より先に入れてください。カメラの電源を後で入れると、本機で接続を認識できません。
- 本機の電源を入れるときにジョイスティックに触れないでください。ジョイスティックに触れると、電源投入時の原点確認が正しくできません。

本機でカメラの電源を入切するには

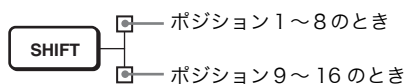
カメラをコンセントにつないでいるときは、本機の POWER ボタンでカメラの電源の入切ができます。
POWER ボタンを押しながら、電源を入切したいカメラの CAMERA ボタンを押します。
本機で電源を切ると、カメラの POWER ランプは消え、STANDBY ランプが点灯します。

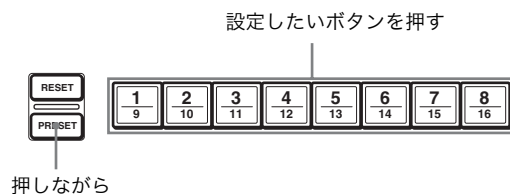
カメラの状態を記憶させる－プリセット機能

本機を使って、カメラの向きや、ズーム、ピント調節、逆光補正の入 / 切などを 16 種類（16 ポジション）までカメラ内部のメモリーに記憶させることができます。
カメラ BRC-300 接続時は 6 ポジションまで使用できます。

1 PAN-TILT RESET ボタンを押してパン・チルト位置をリセットする。

2 CAMERA ボタンを押してカメラを選択する。

3 カメラの向き、ズーム、ピント、逆光補正などを調節する。

4 SHIFTボタンを1秒以上押して､POSITION 1～8ボタンの機能を切り換える。（BRC-H700、BRC-Z700、BRC-Z330 以外の場合）
SHIFT ボタンを 1 秒以上押して上のインジケーターを点灯させると、POSITION 1 ～ 8 ボタンをポジション 1 ～ 8 用に使えます。
SHIFT ボタンを 1 秒以上押して下側のインジケーターを点灯させると、POSITION 1 ～ 8 ボタンをポジション 9 ～ 16 用に使えます。

5 PRESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ～ 8 ボタンの中から 1 つ選んで押す。（BRC-H700、BRC-Z700、BRC-Z330 以外の場合）

設定したいボタンを押す

RESET
PRESET

押しながら

カメラの状態がカメラ内部のメモリーに記憶されます。
記憶中は押したボタンが点滅します。記憶が完了すると点滅が止まります。

記憶させた状態を呼び出すには

SHIFT ボタンを 1 秒以上押して POSITION 1 ～ 8 ボタンの機能を切り換えてから、POSITION 1 ～ 8 ボタンの中から 1 つ選んで押します。

記憶を消すには

SHIFT ボタンを 1 秒以上押して POSITION 1 ～ 8 ボタンの機能を切り換えます。その後 RESET ボタンを押しながら、POSITION 1 ～ 8 ボタンの中から記憶を消したいボタンを選んで押します。

記憶消去中は押したボタンが点滅します。消去が完了すると点滅が止まります。

ご注意

- 電源を入れたときは、POSITION 1 に記憶された設定内容で起動します。
- 電源を一度切ってから再度入れたときに、電源を切る前のカメラの状態やパン・チルト位置を反映させたいときは、POSITION 1 に設定を記憶させてください。
- POSITION への記憶設定中または記憶消去中は、他の POSITION の記憶呼び出し、設定、消去はできません。

カメラ BRC-H700/BRC-Z700/BRC-Z330 使用時にポジション 9 ～ 16 を選ぶには

SHIFT ボタンを押しながら PRESET ボタン（記憶させるとき / 呼び出すとき）または RESET ボタン（記憶を消すとき）を押すと、下側のインジケーターが点灯し、

POSITION1 ～ 8 ボタンをポジション 9 ～ 16 用として使用できます。
SHIFT ボタンから指を離すと、上側のインジケーターが点灯し、POSITION1 ～ 8 ボタンがポジション 1 ～ 8 用に戻ります。
先に SHIFT ボタンを 1 秒以上押して、インジケーターを切り換えておく必要はありません。

ポジション移動時の速度を設定する（BRC-300/BRC-H700/BRC-Z700/BRC-Z330 使用時のみ）

プリセットしたポジションへカメラが移動するときのパン・チルト速度を設定できます。

1 CAMERA ボタンを押してカメラを選択する。

2 移動速度を設定したい POSITION ボタンを 1 秒以上押す。
CAMERA ボタン 1 ～ 7 がすべて点滅します。

3 設定したい速度に対応した CAMERA ボタンを押す。

CAMERA ボタン	パン・チルト速度	
	BRC-300/H700/Z700	BRC-Z330
1	1 度 / 秒	1.3 度／秒
2	2.2 度 / 秒	3.4 度／秒
3	4.8 度 / 秒	5.4 度／秒
4	11 度 / 秒	11.6 度／秒
5	23.3 度 / 秒	23.9 度／秒
6	43 度 / 秒	43.4 度／秒
7	60 度 / 秒（デフォルト）	60 度／秒（デフォルト）

これで、カメラが移動するときの速度が設定されました。

カメラ BRC-H700、BRC-Z700、BRC-Z330 使用時にポジション 9 ～ 16 の移動速度を設定するには

SHIFT ボタンを押しながら POSITION ボタンを 1 秒以上押すと、POSITION1 ～ 8 ボタンがポジション 9 ～ 16 用に切り換わり、設定できます。

RM-BR300 に記憶させて使用できる機能

本機でパン・チルトの操作をするときの下記の機能の設定は、本機に記憶されます。

パン・チルトの最高速度を制限する（BRC-300/BRC-H700/BRC-Z700/BRC-Z330 使用時のみ）

ジョイスティックを最大限に倒したとき（最高速度）の速度を 7 段階に制限できます。

1 SHIFTボタンを押しながらPAN-TILT RESETボタンを 1 秒以上押す。
CAMERA ボタン 1 ～ 7 がすべて点滅します。

2 制限したい速度に対応した CAMERA ボタンを押す。

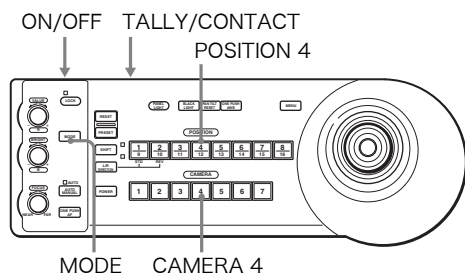
CAMERA ボタン	パン・チルト最高速度	
	BRC-300/H700/Z700	BRC-Z330
1	3.5 度／秒	4.4 度／秒
2	6.4 度／秒	6.7 度／秒
3	11 度／秒	11.6 度／秒
4	18.3 度／秒	18.6 度／秒
5	29 度／秒	29.2 度／秒
6	43 度／秒	43.4 度／秒
7	60 度／秒	60 度／秒

押した CAMERA ボタンのみが点滅し、対応する最高速度が設定されます。

ご注意

ご使用になる RM-BR300 を交換した場合や、RM-BR300 に接続するカメラを交換した場合は、再度設定し直してください。

RM-BR300 のタリーモードを設定する

本機では、接続されたカメラのタリーランプを点灯させるモードとして、オンエアタリーモードとノーマルタリーモードを切り換えて使用することができます。工場出荷時はノーマルタリーモードに設定されています。
制御できるカメラ番号については、付録の「TALLY/CONTACT 端子」（21 ページ）をご覧ください。

オンエアタリーモードに設定する

オンエアタリーモードは、TALLY/CONTACT スイッチを TALLY に設定した場合、本機のカメラ選択に関係なく、外部スイッチャーで選択したカメラのタリーランプを点灯させます。次のように設定します。

1 本機の ON/OFF スイッチを押して、電源を切る。

2 TALLY/CONTACT スイッチを TALLY に設定する。

3 MODE ボタン、CAMERA ボタン 4、POSITION ボタン 4 を同時に押しながら、本機の ON/OFF スイッチを押して電源を入れる。
これで、オンエアタリーモードに設定されます。設定されたタリーモードは電源を切っても保持されます。
タリーモードの設定を確認するには、「タリーモードを確認する」（18 ページ）をご覧ください。

TALLY/CONTACT スイッチを切り換えるには

本機の電源を切り、TALLY/CONTACT スイッチを使用したい機能に応じて切り換えてから電源を入れ直してください。

ノーマルタリーモードに設定する

ノーマルタリーモードは、TALLY/CONTACT スイッチを TALLY に設定した場合、外部スイッチャーでカメラを選択すると本機でも同じカメラが選択され、CAMERA ボタンが青色に点灯し、カメラのタリーランプが点灯します。次のように設定します。

1 本機の ON/OFF スイッチを押して、電源を切る。

2 TALLY/CONTACTスイッチをCONTACTに設定する。

3 MODE ボタン、CAMERA ボタン 4、POSITION ボタン 4 を同時に押しながら、本機の ON/OFF スイッチを押して電源を入れる。
これで、ノーマルタリーモードに設定されます。設定されたタリーモードは電源を切っても保持されます。
タリーモードの設定を確認するには、「タリーモードを確認する」（18 ページ）をご覧ください。

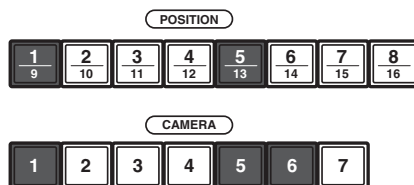
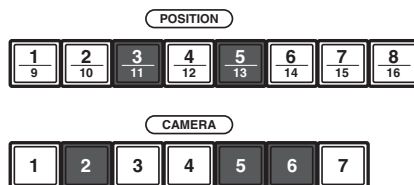
TALLY/CONTACT スイッチを切り換えるには

本機の電源を切り、TALLY/CONTACT スイッチを使用したい機能に応じて切り換えてから電源を入れ直してください。

タリーモードを確認する

現在設定されているタリーモードをボタンの点灯で確認することができます。

1 MODE ボタンを押したまま、CAMERA ボタン 4 と POSITION ボタン 4 を同時に押す。
POSITION ボタンと CAMERA ボタンの点灯が変わり、設定されているタリーモードを表示します。

オンエアタリーモード
POSITION ボタンの 2、3、4、6、7、8 と CAMERA ボタンの 2、3、4、7 が点灯します。

ノーマルタリーモード
POSITION ボタンの 1、2、4、6、7、8 と CAMERA ボタンの 1、3、4、7 が点灯します。

2 POSITION ボタンと CAMERA ボタンの点灯は、約 5 秒後に元に戻る。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも具合の悪いときは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因	処置
電源が入らない。	AC 電源アダプターが DC IN 12V 端子にしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
	電源コードが AC 電源アダプターや電源コンセントにしっかり接続されていない。	奥までしっかり差し込んでください。
本機からカメラが操作できない。	VISCA RS-422 接続が正しく行われていない。	VISCA RS-422 端子への接続、および RS-422 ケーブルの配線を確認してください。
	VISCA 通信方法の設定が違っている。	本機底面の DIP スイッチ（10 ページ）で正しい通信方法（RS-232C または RS-422）に設定してください。
	通信ボーレートの設定が異なっている。	本機底面の DIP スイッチ（10 ページ）でカメラ側の設定と同じボーレート（9,600 bps または 38,400 bps）に設定してください。
どうしても動作しない。	—	電源コードのプラグをコンセントから抜き、しばらくしてからもう一度つないでみてください。

仕様

入出力端子

コントロール入 / 出力端子
VISCA RS-232C OUT：8 ピンミニ DIN
VISCA RS-422：9 ピン
TALLY 入力 /CONTACT 出力：9 ピン

コントロール信号形式
9,600 bps/38,400 bps、
データ 8 ビット、ストップ 1 ビット

電源端子　JEITA type4 (DC IN 12V 端子)

その他

入力電圧　DC 12 V（DC 10.8 ～ 13.2 V）
消費電流　最大 0.2 A（DC 12 V 入力時）、2.4 W
動作温度　0 ～ 40 ℃
保存温度　－ 20 ～＋ 60 ℃
最大外形寸法　391.3 × 185 × 145.9 mm（幅／高さ／奥行き）
質量　約 950 g

付属品

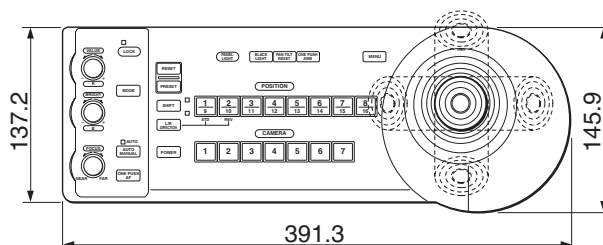
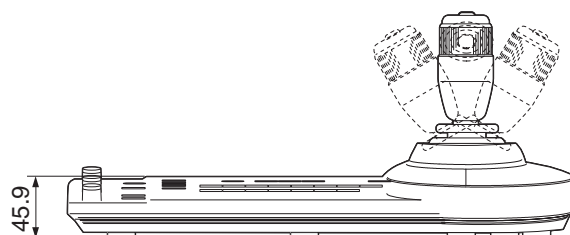
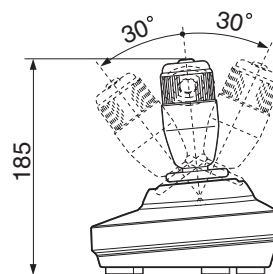
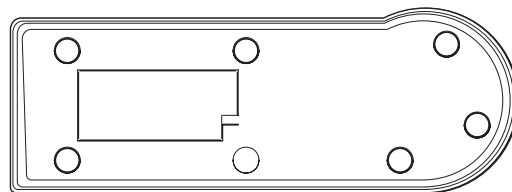
AC 電源アダプター MPA-AC1(ソニー製)（AC 100 V、50/60 Hz）（1）
電源コード（1）
RS-232C 接続ケーブル（1）
RS-422 端子台コネクター (2)
取扱説明書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

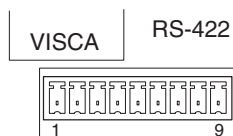
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

寸法図

上面

正面

側面

底面

端子のピン配列

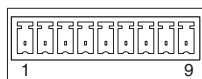
VISCA RS-232C 出力端子（8 ピンミニ DIN、メス）

ピン番号	機能
1	未使用
2	未使用
3	TXD IN
4	GND
5	RXD IN
6	GND
7	未使用
8	未使用

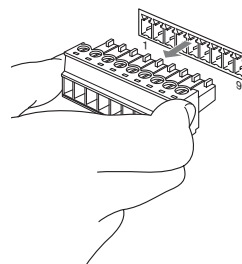
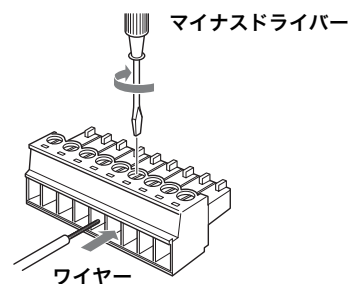
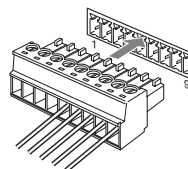
VISCA RS-422 端子 (コンタクト端子台、9 ピン)

VISCA　RS-422

ピン番号	機能
1	未使用
2	未使用
3	未使用
4	未使用
5	GND
6	RXD IN －
7	RXD IN +
8	TXD IN －
9	TXD IN +

TALLY/CONTACT 端子（コンタクト端子台、9 ピン）

TALLY/CONTACT

ピン番号	機能
1	CAMERA 1
2	CAMERA 2
3	CAMERA 3
4	CAMERA 4
5	CAMERA 5
6	CAMERA 6
7	CAMERA 7
8	GND
9	GND

VISCA RS-422 端子台コネクターの使いかた

1 VISCA RS-422 端子台コネクタープラグの両端を持ち、図のように引き抜く。

2 ワイヤー（AWG No.28 ～ 18）を接続したい穴に差し込み、入れた穴に対応するネジをマイナスドライバーで固定する。

3 VISCA RS-422 端子台コネクターを VISCA RS-422 端子へ差し込む。

ご注意

- 信号の電圧レベルを安定させるため、お互いの GND を接続してください。
- VISCA RS-422 の接続時は、VISCA RS-232C との接続はできません。
- VISCA RS-422 接続の最大距離は、約 1.2 km です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

この説明書は、再生紙を使用しています。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan